

2010年(平成22年)の災害概要

方面内の人口は、約110万人で、和歌山県内の人口、あるいは仙台市の人口に匹敵する。

火災件数は、466件あり、その約7割の333件が建物火災である。原因としては「放火(疑いを含む)」が最も多い。建物火災の約3割の87件が延焼火災となっており、焼損床面積は1,945㎡、焼損表面積が945㎡である。救急出場件数は、76,824件ある。

人口102万人の仙台市では、火災件数391件、焼損面積3,471㎡、救急出場件数約3万7千件であることから見ると、火災では同じような統計数値となるが、救急出場件数では2倍近く多くなる。

方面内人口は110万人であるが、昼間人口は約150万人になることから、これらの影響もある。

1, 管内概要

	管内面積	人口	世帯数	建物総件数
方面内 合計	67.84k ㎡	1,108,866人	585,671	224,696
四 谷	3.21 "	33,309	20,816	7,258
牛 込	5.23 "	89,903	52,824	14,930
新 宿	9.79 "	158,932	96,933	29,176
中 野	6.46 "	138,714	84,369	26,151
野 方	9.13 "	160,848	91,563	36,236
杉 並	18.99 "	305,039	174,243	64,416
荻 窪	15.03 "	222,121	117,747	46,529

方面内には、7つの消防署と22の出張所があり、職員数は1,615人である。署員数は、牛込消防署の133人から杉並消防署の362人まで、署の特性や管内状況により異なる。

消防団は各消防署に本団本部があり、7つの消防団と42の分団、1,800人の消防団員が活動している。

2, 火災-1

	火災件数	建物火災	(延焼火災)	車両火災	その他の火災
方面内 合計	466件	333件	87件	33件	100件
四 谷	37	24	4	3	10
牛 込	48	31	6	7	10
新 宿	139	104	26	17	18
中 野	64	47	13	2	15
野 方	45	33	9	0	12
杉 並	71	52	20	3	16
荻 窪	62	42	9	1	19

(注: 延焼火災は、建物火災のうち、全焼・半焼・部分焼の火災の合計)

火災-2

火災による	死者	負傷者	焼損床面積	焼損表面積
方面内 合計	7名	97名	1,945㎡	945㎡
四 谷	0	6	35	23
牛 込	0	5	122	285
新 宿	0	31	149	196
中 野	4	19	586	166
野 方	1	12	98	72
杉 並	1	16	714	122
荻 窪	1	8	241	81

火災による死者は7名、昨年の14名から半数となった。

3. 救助等活動

	救助活動	危険排除件数	PA 連携活動	消防警戒
方面内 合計	2,115件	621件	15,367件	177件
四 谷	165	49	787	65
牛 込	179	50	1,154	20
新 宿	458	131	4,587	29
中 野	202	86	2,010	8
野 方	246	92	1,793	28
杉 並	473	116	3,138	13
荻 窪	392	97	1,898	14

PA連携は、救急活動の中で救急隊単隊では困難な事案や救急隊の到着が遅延する遅気のある場合にポンプ隊が救急支援として出場する。新宿消防署がPA連携が多いのは、「新宿駅内や、歌舞伎町などの夜間繁華街での救急支援」としてケースが多いためである。

4. 救急救護件数

	救急出場件数	救護件数	(急病)	(一般負傷)	(交通事故)
方面内 合計	76,834件	67,389人	49,662	12,261	6,301
四 谷	9,662	8,297	5,839	1,561	809
牛 込	2,994	2,704	1,975	457	244
新 宿	22,858	19,452	14,739	3,669	1,673
中 野	6,081	5,446	3,987	987	455
野 方	8,901	7,918	6,071	1,388	698
杉 並	18,258	16,272	11,804	2,889	1,664
荻 窪	8,080	7,300	5,247	1,310	758

方面内の救急隊は25隊あり、平均して年間3,000件の出場件数となる。特に多いのは新宿歌舞伎町の直近救急隊が約3,800件の出場となっている。